

# OUT DOOR SELF GUIDE

## ひとりで学べる 野外セルフガイド

年間



すがおぬま  
菅生沼ふれあい橋



しぜんほっけんこうぼう  
自然発見工房

### 野外観察の拠点

### 自然発見工房



各種観察用具・図鑑を貸し出します。

#### ●観察用具

(双眼鏡・シャベル・ルーペなど)

#### ●各種図鑑

(植物図鑑・野鳥図鑑・昆虫図鑑など)

休憩等にもご利用できます。学校団体等での部屋の使用は、事前に相談してください。13:30から行われる野外ガイドツアーの集合場所にもなります。

### 発見を体験する

### 自然発見器



遊びながら、いろいろな虫や鳥などのまねをして、その生活や行動を疑似体験することができます。また、太陽・風・土・水などの自然現象を楽しく観察できるように工夫しています。

いろいろな動物の巣をまねた「動物の巣」、林を下から上まで移動しながら眺める「リスの目タワー」、「100m伝言パイプ」など、さまざまな自然発見器がみなさんをお待ちしています。

日付

年 月 日

氏名

携帯電話からもホームページをご覧いただけます。



バーコードで簡単アクセス

ミュージアムパーク

茨城県自然博物館

〒306-0622 茨城県坂東市大崎700番地 TEL0297-38-2000

[ホームページアドレス] <http://www.nat.pref.ibaraki.jp/>



このパンフレットは100%再生紙を使用しています。



ミュージアムパーク

茨城県自然博物館



# 四季とともに移り変わる自然の表情をさまざまな視点で観察してみましょう。



動物

## 自然観察ノート〈動物〉

(野外の様々な動物を紹介する解説板)

- A. 菅生沼の鳥
- B. 林の鳥
- C. 水辺・草原の鳥
- D. 林や草原の小動物
- E. 水辺の小動物
- F. 草地の昆虫
- G. 林の昆虫
- H. 水辺の昆虫
- I. 淡水の魚

植物

## 自然観察ノート〈植物〉

(野外の様々な植物を紹介する解説板)

- 1. メタセコイアとラクウショウ
- 2. 針葉樹の極相林
- 3. 照葉樹のコーナー
- 4. 針葉樹のコーナー
- 5. 日本の木と外国の木
- 6. 平地の陽樹林
- 7. 夏緑樹の極相林
- 8. 山地・亜高山の陽樹林
- 9. 高山付近の低木林
- 10. 湿生植物と水生植物

## ネイチャートレイルコース

- 草と木の観察コース
- 鳥と虫の観察コース
- 石と岩の観察コース
- 自然発見器コース
- 水のコース

※自然発見工房では、双眼鏡・ルーペ・シャベルなどの観察用具・各種図鑑の貸し出しを行っています。  
 ※野外の動物・植物・岩石などを大切にしましょう。



# 春

S P R I N G

やわらかな日差しの中で  
新しい生命の息吹につつまれる春。

ウメやサクラ、スミレなど最も多くの種類の花が咲く春、冬の寒さを乗り越えた昆虫やカエルなどの動物たちも動き始めます。3月も半ば近くになると、菅生沼のコハクチョウやカモ類などの冬鳥も、シベリア方面へ旅立ちます。



ヨシノボリ(ハゼの仲間)

## 動物

トンボの池では、カエルの産卵が始まり、水がぬるんでくるとフナ類やハゼ類の稚魚も泳ぎだします。また、モンシロチョウやアゲハチョウなども活動を始めます。やがて園内の林には、ウグイス・ホトギスが飛来し、盛んにさえずる声が聞こえます。



フタリススカ

## 植物

3月下旬、寒々とした雑木林の所々に、真っ白なコブシが木全体に咲き、やがてソメイヨシノの並木が一面に花開きます。雑木林の新緑が次第に彩りを増す頃、林床にはフタリススカやチゴユリの群落、またキンランやギンランの花も点々と見られます。

## 地学

「春の天気は3日まで」といわれるように、天気が変わりやすい季節です。これは移動性の高気圧と低気圧によります。

# 夏

S U M M E R

木々や花々が、虫や鳥たちが  
生命の喜びを躍動させる夏。

初夏の水辺には、アヤマなどのなかがまが咲き、夏至を過ぎた頃、ハンゲショウの葉は白くなります。園内には、オオシキリの声も聞かれます。昆虫の森をはじめ園内各所で、クワガタなどの昆虫たちの生活も観察されます。



オニヤンマ

## 動物

トンボの池や沼周辺のヨシの群落から、オオシキリがなわばりを宣言するように盛んにさえずっています。また、トンボの池には、菅生沼と往き来する種類を含めて、多くのトンボが見られます。産卵の様子やなわばりなど、さまざまな行動を観察してみましょう。

## 植物

初夏の水辺には、ハナショウブやその原種であるノハナショウブ、そして外来種のキショウブが花を開きます。また、雑木林には、ヤマユリの香りが広がります。さらに、ヤマシノホトギスのつぼみが膨らむ頃、夏も終わりに近づきます。



ヤマユリ

## 地学

停滞前線による梅雨の時期と、その後の晴れの多い時期があります。南風が多いため、湿気が多いのが特徴です。



嵯峨野

# 秋

A U T U M N

さわやかな風の中で、やがてくる  
季節への備えが始まる秋。

秋の七草などの他に、水辺には淡紅色のミズノバが、  
林縁にはガマズミやムラサキシキブなどの実も見られます。  
また、アキアカネ・ノシメトンボなどの赤とんぼや  
コオロギなど秋の虫の音も聞こえてきます。



アオマツムシ

## 動物

園内の木々の実を  
食べる様々な鳥が  
やって来ます。なわ  
ばりを宣言するモ  
ズのかん高い声も、響きわたります。  
運がよければ、小動物を木の  
枝にさす「はやにえ」が見つかる  
かもしれません。また、夕方になると、  
樹上では外来種のアオマツムシが合  
唱をはじめます。

## 植物

秋の七草のうち、ヤマハギ・スキクズ・オミナエシ・キキョウ・フジバカマが園内にあります。いくつか見つかるでしょうか。また、いろいろな木の実やきのこ(菌類)などの森からの贈り物を探してみましょう。



ナラタケ

## 地学

台風や秋霖(秋の長雨)の時期から周期的に変わりやすい天気へと変化し、気持ちの良い秋晴れが見られるようになります。



曇

# 冬

W I N T E R

長くきびしい寒さのもと  
生き物たちが試練に耐える冬。

冬には、一部に見られる照葉樹や針葉樹を除き、  
雑木林はすっかり葉を落とします。  
枯れたヨシやマコモの広がる菅生沼には、  
コハクチョウ・コガモ・オナガガモなどの冬鳥が見られます。

## 動物

菅生沼には300羽近くのコハクチョウがやってきます。また、コガモなどのカモ類も数多く見られます。オオタカやチュウヒなどの猛禽類も見られます。菅生沼ふれあい橋などから、野鳥の生活を観察しましょう。



コハクチョウ

## 植物

冬芽の形や葉のおちた痕の形、タンポポなどの草たちが冬を越す様子などを観察してみましょう。また、冬に咲くヤブツバキ・サザンカなどの樹木や春を告げるフクジュソウの花が見られるかもしれません。



ヤブツバキ

## 地学

冬の天気の特徴 冬は大陸側の気圧が高く、東の太平洋側の気圧が低い西高東低の気圧配置になります。日本付近では北西の季節風が吹き、日本海側では雪または雨が降り、太平洋側では晴天で空気が乾燥した日が続きます。

